

2015年度奨学候補生現地(ミャンマー)選考会 実施報告書

- 【実施日】 2015年9月30日(火) 09:00～
【会場】 ミャンマー・ヤンゴン市 CHATRIUM HOTEL ROYAL LAKE
【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
【現地運営団体】 MOMIJI 日本語センター



前列左から：村松実行副委員長、大塚選考委員長、菊川理事長、石塚実行委員
後列左から：採用者3名 SUTHEINHI LATT、NYEIN NYEIN HTWE、ZAR CHI AUNG

〈総評〉

当財団ではミャンマーで、日本に留学する為に日本語を勉強していて、2015 年 4 月から日本の日本語学校に進学を予定しているミャンマーの学生を対象とし、2014 年 9 月 30 日(火)にミャンマー・ヤンゴン市で、奨学候補生現地選考会を開催いたしました。

応募者数 11 名のうち 3 名を奨学候補生として採用いたしました。

選考会では、参加者にグループ面接をし、一人一人に日本留学を希望する理由等様々な質問をし、選考委員 2 名による審査の結果、奨学候補生 3 名を決定いたしました。

奨学候補生 3 名には、2015 年 4 月から 2016 年 3 月までの 1 年間、日本で月額 6 万円の奨学金(総額 72 万円)を支給します。

2015 年度奨学候補生として採用された学生が、無事に 2015 年 4 月 1 日に日本の日本語学校に入学した時に、充実した留学生活の修学支援をすることを楽しみにしています。

〈実施報告〉

■ 選考会

09 : 00～	A グループ 選考会面接
09 : 50～	B グループ 選考会面接



選考会の様子

■ 授与式

11 : 00～	2015 年度 奨学候補生採用証 授与式
----------	----------------------

式次第

- 一、開会の辞
- 一、理事長挨拶
- 一、選考委員長講評
- 一、証書授与
- 一、閉会の辞



菊川理事長挨拶



大塚選考委員長講評

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 理事長 一般財団法人 共立国際交流奨学財団 奨学金選考委員



採用者 3 名に証書の授与

【採用者】 (株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 (月額 60,000 円×12 ヶ月)

氏名	学校名
SU THEINGI LATT	ヤンゴン外国語大学 (MOMIJI 日本語センター)
NYEIN NYEIN HTWE	ヤンゴン教育大学 (MOMIJI 日本語センター)
ZAR CHI AUNG	マンダレー外国語大学 (MOMIJI 日本語センター)



講 評

選考委員長 菊川 長徳

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 理事長
国士舘大学 21 世紀アジア学部 教授

ミャンマーでの「2015 年度奨学候補生現地選考会」を、2014 年 9 月 30 日に実施しました。

応募者は 11 名でしたが、当日面接に参加してくれた人は 9 名でした。

採用された 3 名は、マンダレー外国語大学卒が 2 名、ヤンゴン教育大学卒が 1 名でした。

この奨学金は、日本語学校に留学する人が対象で 1 年間支給の奨学制度です。日本語を上達させ、自分の留学の目的を達成させる為の日本語習得という為の支給です。

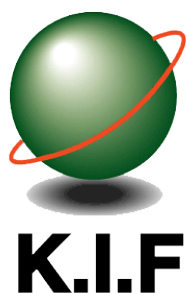
応募者選考にあたっては、日本語が習得できた後の目的、例えば就きたい職業、自国に持ち帰って、自国の発展に貢献したい事は？両親の賛同は？今後ミャンマーに必要な分野か？等についてを選考基準にして選びました。

Aさんは、日本の教育制度と教育について興味を持っていて、日本の教育養成大学等で勉強し、ミャンマーでの小・中学校教育について貢献したいという目的を持っていました。

Bさんは、現在、ダム建設、橋の建築等の国家プロジェクトの入札業者のコンサルティングのような仕事をしていますが、もう少し、経営・運営について日本で勉強してみたいという目的を持っている人でした。

他の 1 名もしっかりした目的を明確に説明してもらえたので採用しました。

今回採用した 3 名は、日本語を上手に使う為に日本語学校に留学し、その後で自分の夢を実現してくれる事を願っています。



一般財団法人 共立国際交流奨学財団

所在地：〒101-0021

東京都千代田区外神田2丁目18番8号

TEL：03-5295-0205

FAX：03-5295-0206

URL：<http://www.kif-org.com>